

令和5年度第2回土木計画学委員会幹事会 議事録

日時：令和6年3月18日(月) 13:15-15:00

場所：富山国際会議場 2F 会議室 205-206 号室+オンライン

■ 出席者(敬称略)

委員長：多々納 裕一 (京都大学)

副委員長：柿本 竜治(熊本大学), 山崎 基浩 (豊田都市交通研究所)

幹事長：福田 大輔 (東京大学)

学術小委員会：(代)平石浩之* (日本能率協会総合研究所) (欠：山本俊行 (名古屋大学))

大会運営小委員会：(代)中山晶一郎* (金沢大学) (欠：谷本圭志 (鳥取大学))

委員兼幹事：浦田 淳司 (筑波大学), 梶谷 義雄 (香川大学), 鈴木 美緒 (東海大学), 崔 善鏡* (東京工業大学), 中野 一慶* (電力中央研究所), 浅田 拓海 (室蘭工業大学), 石井 良治 (計量計画研究所), 井上 亮 (東北大学), 金子 素子 (アルメック), 樋口恵一 (大同大学), 山口 裕通 (金沢大学)

※オブザーバー参加

令和6年度春大会開催校幹事：(代)峪 龍一* (欠：高野 伸栄 (北海道大学))

*:オンライン

■ 欠席者(敬称略)

桑野 将司 (鳥取大学)、尾野 薫 (宮崎大学), 神田 佑亮 (呉工業高等専門学校)

■ 議事(案)(敬称略)

1. 開会(委員長挨拶)

- ・多々納委員長に変わり, 福田幹事長より挨拶があった。

2. 前回委員会 議事録の確認.....資料1

- ・井上幹事より【資料1】について説明があった。
- ・各幹事で確認の上, 原案で承認された。

3. 大会運営小委員会からの報告.....資料2

- ・中山大会運営小委員会副委員長より【資料2】について, 今後の大会の準備状況と大会運営小委員会のメンバー変更について説明があった。
- ・第71回の日付と会場は香川大学(2025年6月7日・8日)に決まったとの報告があった。報告があった, 第71回の開催予定まで委員会のHPで公開することになった。
- ・第69回・北海道大学の準備状況について, 峪開催校幹事代理より大会の準備状況について説明があった。会場費について, 近日中に計算予定であるが, 概算で250万円以上となる予定であり, 件数増加により, より多くの予算が必要になる可能性があることの説明があった。
>福田幹事長より, 提示された2023年度の繰越分で対応可能である可能性が示された。

＞会場費の予算執行については、開催校・大会運営小委員会・幹事長で、打ち合わせをすることとなった。

＞ポスターセッションの時間について質問があったが、当初は 80 枚同時に貼れる部屋を予約していたが、件数増により再検討が必要であること。受賞担当の学術小委員会とも、採点の時間を考慮した打ち合わせをしていくことが確認された。なお、幹事会後にポスター数の誤りについて訂正があり（204 件→144 件）、当初の予定のままで十分であることが確認された。

・中山大会運営小委員会副委員長より、ポスター審査について、次年度より、採点・集計まで学術小委員会で担当することとなったことの報告があった。

・福田幹事長より、大会運営小委員会と開催校に対して、幹事会セッション（震災セッション）について、可能であればランチョンセミナーと同じ部屋での実施検討について要望があった。

4. 学術小委員会からの報告.....資料 3

・平石学術小委員会副委員長より【資料 3】に基づいて、特集号 Vol.41 の状況の説明と、土木学会論文奨励賞と春大会ポスター審査の説明があった。

・福田幹事長より、優秀論文賞について委員会の HP に掲載するために、確定次第、連絡してほしいことの要望と、同賞について春大会のランチョンミーティングで表彰か報告することについて提案があった。

・今年度の、ポスター発表の件数が多い（204 件）ために、発表・採点スケジュール等について、大会運営小委員会と打ち合わせして進めることとなった。なお、幹事会後にポスター数の誤りについて訂正（204 件→144 件）があった。

5. 令和 6 年度全国大会計画学幹事会セッションについて（鈴木、梶谷、井上、浅田） 資料 4

・鈴木幹事より【資料 4】に基づいて、令和 6 年度の研究討論会と幹事会セッションの企画について説明があった。

・幹事会セッション企画について、タイトルについて担当幹事で再検討することとなった。

・福田幹事長・金子幹事・崔幹事より、論文投稿・発表の内容について提案があり、それらも検討することとなった。

・幹事会での全国大会関係の役割分担について、来年度以降のプログラム編成の補助（2 名）も含めて、4 名体制で実施する予定であることが確認された。

6. 令和 6 年能登半島地震対応特別プロジェクトについて（梶谷、樋口、浦田、山口、福田） 資料 5

・樋口幹事より、【資料 5】に基づいて、調査組織と活動の状況・予定について報告があった。

・多々納委員長より、発表だけでなく、地元大学を介してフィードバックができるよう、取り組みを考えるように提案があった。あわせて、防災学術連携体や防災国体などへ土木計画学研究委員会

からの発信をすることの提案があった。

- ・ 3/19 に続きの議論を実施することとなった。

7. 令和5年度・令和6年度の予算執行について（福田、浦田、山口） 資料 6

- ・ 福田幹事長より、【資料6】に基づいて予算の残額について報告があった。
- ・ 執行可能な時間の範囲内で、slackの経費などについての執行を検討することとなった。

8. 各担当からの報告

- a. 研究小委員会関連（桑野、尾野）

- ・ 福田幹事長より、「国土強靱化定量的脆弱性評価委員会」（小委員長：藤生聡）の成果について公表と記者発表があった旨の報告があった。

- b. HP 関連（崔、樋口）

- ・ 崔幹事より、小委員会向けのHPについてマニュアル作成などについて、今後の方針の説明があった。

福田幹事長より、マニュアル作成を業者に発注して対応することの提案があった。

小委員会向けだけでなく、委員会ページ全体の更新マニュアルについても、業者に発注して進めることとなった。

- c. ワンデイセミナー関連（中野、石井） 資料 7

- ・ 中野幹事より、【資料7】に基づいてワンデイセミナーの要件を明文化する経緯と、現状の細則に基本要件を追加する形と、その要件案について提案があった。審議の結果、提案の内容で進め、次の委員会に諮る予定とすることとなった。

審議において、以下のような議論があった。

- ・ シンポジウム・講習会・ワンデイセミナーの位置付けの整理が必要。
- ・ 2日以上のものであれば、「シンポジウム」にすべきではないか？
(近年は、ほぼワンデイセミナーばかりで、それ以外は数が少ない.)

議論の結果、2日以上のものについては「シンポジウム」も検討することなどについて、周知を図ることとなった。

- d. 出版委員会関連（石井） 資料 8

- ・ 石井幹事より、1件の企画が土木学会で承認された旨と、1件の改訂について報告があった。

- e. 国際貢献賞推薦関連（福田）資料 9

- ・福田幹事長より，国際貢献賞に張教授を推薦した旨について報告があった。

9. その他

- 規約改正の理事会承認（2024年1月）

- ・福田幹事長より，前回の委員会で承認した規約改正について，理事会承認された旨について報告があった。

- 次回委員会日程（仮）（5月25日（土）昼休み，夜：慰労会，26日（日）昼：委員会報告）

- ・多々納委員長より，委員会に次期委員長と決まっていれば次期副委員長も出席を求めることの提案があり，福田幹事長より打診することとなった。

以上